

農作業特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

昨年の記録的な登熟期間の高温にも耐えうる、活力の高い「体づくり」のため、まず「土づくり」から始めましょう。

春の土づくり

① 土壌改良資材や有機物の施用

耕起前までに土壌改良資材の施用や堆肥などの有機物を散布しましょう。

	資材名	施用量 (10a)		堆肥名	施用量(10a)
土壌改良資材	粒状ケイカル	200kg	※有機物	発酵鶏ふん	90～120kg
	鉄入りシリカパンチF	100～ 120kg		牛ふん堆肥	1～2t
				豚ふん堆肥	1t

※有機物の連用ほ場や地力の高いほ場は、基肥のチッソ量を1～2kg/10a 減肥してください

② 深耕による作土層の拡大

耕起は、作土の深さ15cm以上を目標（現状より3cm深く）に、トラクタの速度を落としてゆっくりと行いましょう。

作土層を深くすることで根の伸長を促し、気温や水分の変化を受けにくい稲体にしましょう。

地震に伴う農地や関連施設などの点検

1月1日に発生した能登半島地震の影響で、県西部を中心に用水の目地切れやほ場、畦畔への亀裂、液状化現象が発生しています。

特に、気象庁の推定で揺れが大きかったとみられる沿岸部や角川沿いの地域などで、農地の亀裂などの被害が発生していないか、作業開始前までに点検を行ってください。

またその他の地域においても、ていねいな耕起・代掻きやあぜ塗り作業などで、ほ場や畦畔からの漏水対策に努めてください。

なお、農地や用水などの周辺施設で被害を発見した場合は、連絡をお願いします。

・魚津市農林水産課	TEL：23-1034
・魚津市土地改良区	TEL：22-5656
・魚津市農業協同組合営農企画課	TEL：24-9923